

日本英語学会第26回大会
ワークショッププログラム

2008年11月15日(土) 9時30分から12時まで
筑波大学

(ワークショップ)

第1室 コーパス解析、作例、実験・調査を組み合わせた実証的言語研究法:

日英語の清掃動詞構文の分析を通じて

(1C棟 210 講義室)

責任者: 黒田 航 (NICT けいはんな研究所)

司会者: 黒田 航 (NICT けいはんな研究所)

発表者: 大谷直輝 (京都大学大学院/日本学術振興会)

“A corpus-based study of verb particle constructions: The case of verbs for cleaning”

発表者: 黒田 航 (NICT けいはんな研究所)

「コーパス事例の観察に基づく日本語清掃表現の記述の一般化, 並びに自作例による妥当性の検討」

発表者: 中本敬子 (文教大学)

「心理実験を用いた語順選好の計測: 日本語清掃表現を例として」

(スチューデント・ワークショップ)

第2室 動詞の意味と構文の関わり—動詞後続の位置で観察される諸現象を中心に

(1C棟 310 講義室)

責任者: 北原賢一 (筑波大学大学院)

司会者: 北原賢一 (筑波大学大学院)

発表者: 北原賢一 (筑波大学大学院)・陸丹 (筑波大学大学院)

「認識動詞の生起する ECM 構文の認可条件と談話の関わり—日英語対照の見地から」

発表者: 小栗哲哉 (筑波大学大学院)

「非能格動詞に後続する名詞句の二面性— Reaction Object 構文を中心に」

発表者: 福井龍太 (筑波大学大学院)

「移動を表す形容詞句・前置詞句について」

発表者: 藤川勝也 (大阪市立大学大学院)

「描写構文の機能と描写句の意味的特性」

ディスカッサント: 岩田彩志 (大阪市立大学)

第3室 ミニマリスト・プログラムにおける移動現象

(1B棟 208 講義室)

責任者: 後藤 亘 (東北学院大学大学院)

司会者: 後藤 亘 (東北学院大学大学院)

発表者: 後藤 亘 (東北学院大学大学院)

“Some consequences of Feature Inheritance”

発表者: 木村博子 (東北大学大学院)

「可視移動の動因としての PF 隣接条件—Sluicing 構文の観点から—」

発表者: 中村太一 (東北大学大学院)

“Internal Pair-Merge: A new approach to extraction domains”

第4室 Eventivity: その言語学的発展 (lexicon・syntax・semantics) (1B棟 308 講義室)

責任者: 後藤さやか (関西学院大学大学院)

司会者: 藤田耕司 (京都大学)

発表者: 新田雅子 (関西学院大学大学院) “On the Differences between Telic and Atelic Predicates in Derivation”

発表者: 後藤さやか (関西学院大学大学院) “Events and Licensing of Adjunct-Wh phrases”

発表者: 三村仁彦 (関西学院大学大学院) 「直接知覚構文と事象性」

発表者: 浅野真也 (関西学院大学大学院) “Toward the Proper Treatment of Aspectual Properties of Change-of-state/location Events”

第5室 英語前置詞の体系化をめざして (共同利用棟 A101 講義室)

責任者: 森田 省 (茨城県立医療大学非常勤特別職)

司会者: 和田四郎 (神戸市外国語大学)

発表者: 森田 省 (茨城県立医療大学非常勤特別職)

「AT versus non-AT: 度量表現を含む事例を中心に」

発表者: 原田真行 (神戸市外国語大学大学院)

「不変化詞 on の意味と用法」

発表者: 楊 徳民 (神戸市外国語大学大学院)

“With as a Comitative marker”(E)

第6室 円滑なコミュニケーションのあり方—日英韓ディスコース対照研究—

(共同利用棟 A201 講義室)

責任者: 工藤貴恵 (日本女子大学大学院)

司会者: 藤井洋子 (日本女子大学)

発表者: 新下彩子 (日本女子大学大学院) 「自然会話における英語と日本語のイントネーション比較」

発表者: 工藤貴恵 (日本女子大学大学院) 「同一トピック内における会話の構造—日英韓国語比較—」

発表者: 川副理美 (日本女子大学大学院) 「客観的事実を表現する際の日英語話者の視点の動き」

発表者: 温井恭子 (日本女子大学大学院) 「ターンテイキングの中におけるあいづち日英比較」

発表者: 平田真知子 (日本女子大学大学院) 「英語の時制と日本語の時の捉え方」

* ハンドアウトは各企画責任者が発表会場に用意します。部数には限りがありますので予め御了承下さい。

* 会場のご案内につきましては、「大会資料・プログラム」をご覧ください。

* 発表タイトル末尾に「(E)」表示がある発表は英語による発表です。